

# 〔OTチームへの相談の一例紹介〕

【提案①】授業中には、本人が困ったと感じられたと思われる場面で、TVの話題が出てきていましたね。こういった場面で、そのような発言が多いかを、まず考えてあげることが必要かもしれませんね。きっかけになる事柄があると思いますので、まずは、そのことを見つけてあげましょう。また、状況や他者の前に『自分の』気持ちや置かれている状況への理解がどの程度できているかも考えてあげる必要があると思います。自分の状況を整理させてあげることも大切です。

【提案②】自分が発言しているとき以外で、話をじっと聞かないといけなような場面で、動くことが多かったですね。少しぼんやりとする脳を目覚めさせようとして、そのような行動を取っているのかもしれませんが。また、自分の動きや筋肉の曲げ伸ばしを感じる感覚の感じとりがあいまいなところもあるのかもしれませんが。休み時間には、相撲や綱引きなど筋肉を沢山使う活動を積極的に取り組んでもいいと思います。

【提案③】授業中は足を組み、背もられにもたれかかっていることがほとんどでした。筋緊張が低く、体の軸がしっかりとしていないために、手の操作がうまくいかないようです。また、黒板の文字を読む際には、一文字一文字をうなづくように、読んでいました。目の玉の使い方も上手ではなく、目と手を合わせて使うことが苦手になっているようです。立った姿勢の方が軸が分かりやすくなります。立位でホワイトボードに文字を書く中で、目と手の協調性を高めてもよいかもしれません。板書の手本は、左右よりも上下の方がよさそうです。

OTチームに頂いた相談の一例を、簡単に紹介させていただきます。報告書は、一人ひとりのお子さんの様子を踏まえ、さらに詳しく説明させていただきます。

【質問①】周囲の状況や人の気持ちを読めずに、場面や状況にそぐわない発言を繰り返してしまう子どもがいるんですが…

【質問②】離席が目立ったり、椅子をガタガタさせることが多い子どもです。休み時間には、“戦いごっこ”多く、女の子を泣かしてしまうこともあるのですが…

【質問③】彫刻等や色塗りが苦手で、文字も枠に収まらない子どもがいるのですが…

